

▼題字▼
なかつ
は、私が書きました。



小洞 千咲 さん
【豊田小6年】



学びたい教育のまち なかつ

今津中学校 (大字植野)



今津中学校は、市の東端にあり、川も海も山もある自然豊かな、生徒数83人の中学校です。学校の教育目標に「人間力を備えた、自ら学び切り拓く生徒の育成」を掲げ、学力向上、体力向上、そして自尊感情の高揚をめざし、授業を中心に学びのサロン、家庭学習や部活動など、さまざまな活動に取り組み、「今津魂」を発揮しています。

学校運営協議会に支えられ、年2回(6・10月)の「クリーンアップ今津」をはじめ、毎年8月末に「納涼盆踊り大会」、9月に伝統種目「〇人〇脚」などを行う「体育大会」、12月の「校内文化祭」、年度末には「三世代交流運動会」を開催するなど、地域やPTA、今津小学校と手をつなぎ、ふれあいを大切にして「故郷に誇りを持ち、将来地域を支える人材育成」をめざした教育を推進しています。



人口と世帯

(4月22日現在)

(前月比)

総人口	84,059 人	(+41)
男	40,557 人	(+51)
女	43,502 人	(-10)
世帯数	39,683 世帯	(+94)

中津市テレビ広報番組 **ぐるっと中津**

ぜひ、ご覧ください!

- 放送日時
奇数月の最終土曜日
9時30分～9時45分
- 放送局
OAB大分朝日放送



次回の放送は5月25日(出です)!

※放送の1週間後を目途に、DVDを図書館で貸し出します。

百歳訪問



しつなぐ

中津市長 奥塚 正典

百歳を迎えられた方をお祝いのため訪問します。一世紀を生き抜いて今なお元氣であるばかりか、その経験や人生観に教えられることがあります。先日自宅に訪ねた男性は、百歳まで生きられていることへの感謝を口にした後、意外なことを語りました。

一人だから幸せだと言つのです。すべて自分の意志で事を決め、結果がどうなっても責任は自分で負えばよい。人を憎むこともつらやむこともないし欲も出ない。自己決定・自己責任の人生が一番だということです。一人暮らしをさみしいとは思わず前向きにとらえています。20数年前に亡くなった奥様への愛情表現も細やかで、「亡くなった時、本当にきれいな顔だった。涙が出ないくらい」と文学者のようです。陶芸、絵画を嗜みできるだけ自立した生活を送ることを信条とされています。稀有の強さとその気概に感服です。

一方、施設に入所し二人の歳を合わせると来年二百歳となる「夫妻。文字どおり「お前百までわしゃ九十九まで共に白髪の生えるまで」のめでたい長寿です。ご主人は60歳を過ぎてからサイクリングを始め、おかげで足腰が鍛えられ百歳でも歩けると感謝し玄関の外まで出てきてくれました。今年99歳を迎える奥様と仲良く過ごされています。お一人はいつもどんな会話を交わすのでしょうか。

高齢になると人により年齢の重ね方、体調、日々の生活は様々です。今百歳を迎えられている方々は私の両親と同年代、時々同級生の親御さんに会うことでもあります。80代で同じ年に他界した私の両親も生きていけば百歳、ふと生前の姿が頭をよぎります。実家に帰るたびに「体に気をつけて。子どもは元氣か。また帰っておいで。」と決まったように言ってお見送ってくれた父母。「ありがとう。今は中津に帰ってこようよ。」



「市報なかつ」がアプリで読める!



ダウンロードはこちらから →

※市報が毎月スマートフォンに届きます。気になる情報をスクラップ&シェアできるので便利です。

自然保護のためこの市報は古紙再生紙を使用しています